

**取組全体の概要:** 福島第一原発事故による厳しい状況に直面している福島県双葉郡において「福島県双葉郡教育復興ビジョン」を踏まえ、全国のモデルともなる人材育成と新たな産業の創造やコミュニティの活性化等の相乗効果を生む復興を押し進める。

**取組の先導性:** 人口減少や高齢化の急速な進行、地域コミュニティの維持、新たな産業の創造等の課題は、全国の多くの地域が直面する課題とも重なる。人材育成と地域活性化がかみ合い相乗効果を創出するモデルは今後全国で求められる。

### これまでの主な実施取組の内容

#### 取組① 福島県双葉郡教育復興に関する合議体の開催を通じたモデル形成

- 「福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」を設置し、町村・県・国・地域・有識者等によるビジョンの具体化を協議
  - ・ 第一回11/28、第二回12/24
- 地域・NPO・教職員・有識者等が参画するワーキンググループを協議会のもとに設置し、個別テーマについて具体化を協議
  - ・ WG① 各町村立幼小中学校間の連携（第一回12/24、第二回1/14）
  - ・ WG② 多様な主体との連携（協議事項整理等の開催準備中）
  - ・ WG③ 避難している子供たちや住民との絆づくり（第一回12/24、第二回1/16）

#### 取組③ 双葉郡教育復興ビジョン実行計画の策定

- 今後取組①②を踏まえて、先導モデルとしての実行計画を策定

#### 取組② 子供たちや保護者との対話を通じた合意形成

- 「福島県双葉郡子供未来会議」を開催し、子供たちや保護者の意見聴取と理解促進を進め、ビジョンの具体化の協議（取組①）に反映
  - ・ 第三回子供未来会議（10/26、郡山市、公募児童生徒・保護者等59名）
  - ・ 子供未来会議第一期報告書検討会（12/23、郡山市、代表生徒6名）
  - ※これまでに子供未来会議に参加した児童生徒のべ83名の意見を取りまとめ、第二回双葉郡教育復興ビジョン推進協議会に提出
  - ・ 第四回子供未来会議（1/13、いわき市、サテライト高校生生徒教員等45名）



### 進捗状況の評価・今後の課題

**評価:** おおむねスケジュール通りに進捗している。取組①においては検討するテーマが明確となり、今後H26からの取組に向けた具体的な検討と体制構築が進む見込み。取組②においては子供たち自身が報告書を作成し協議会に提出される等、子供たちの参画が進んでいる。地域の次代の担い手である若い世代の参画は、学校づくりのみならず本取組の目指す人材育成と地域づくりの相乗効果の創出においても重要な要素となる。

**今後の課題:** 子供未来会議に公募で参加する子供・保護者・教員等が限定されることから、学校での開催や教員の職務上の配慮等の工夫を行う。

### 年度内に実施予定の取組内容

取組①での協議を通じて、実行計画（取組③）を策定していく。なお、テーマ別ワーキンググループが細分化されたことから、WGは年度末までに計17回程度実施される見込みであり、協議会自体は同6回程度の開催となる見込み。また、同時並行で取組②では継続的な開催によって子供たちの参画を進めることに加え、全町村の教職員との合意形成の場の設定も行い、26年度からの取組の実行力を高めていくこととしている。